

2026 年 7 月 17 日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

10 代の野球実施人口は推計 133 万人 年 1 回以上の実施率、男子は約 20 年で半減

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：渡邊一利 以下：SSF）は、2 年ごとにわが国の幼児から青少年までのスポーツの「実施頻度」や「実施時間」、「運動強度」などを調査し、現状を明らかにしてきました。

最新の 2025 年調査（「子ども・青少年のスポーツライフ・データ 2025」は 2026 年 4 月 9 日ご案内済）では、10 代の年 1 回以上・野球実施率は 12.4%、推計人口は 133 万人となり、2001 年の 282 万人から 149 万人減となりました。少子化の進行に加え、スマートフォン・ゲームなど屋内での娯楽の普及や、公園でのボール遊びの規制といった環境の変化により、年に数回程度レクリエーションや遊びで野球に親しむ層の減少につながっていると考えられます。

※野球実施：学校の授業や行事以外で野球を行った（部活動、習いごと、学校での休み時間等は含む）

調査結果のポイント

1. 年 1 回以上の野球実施率：全体 12.4%
2001 年と比較すると 20.5%から 8.1 ポイント減少
2. 年 1 回以上の野球推計実施人口：133 万人
2001 年の 282 万人から 149 万人減
3. 性別の実施率：男子 20.6%、女子 3.9%
2001 年と比較すると、男子は 37.7%から 17.1 ポイント減少と半減、女子は 2.4%から 1.5 ポイント増加
4. 年代別の実施率：最も多いのは小学生年代（10,11 歳）16.1%
以下、中学生年代（12～14 歳）14.2%、高校生年代（15～17 歳）10.4%、大学生年代（18,19 歳）6.1%

【主な調査結果】

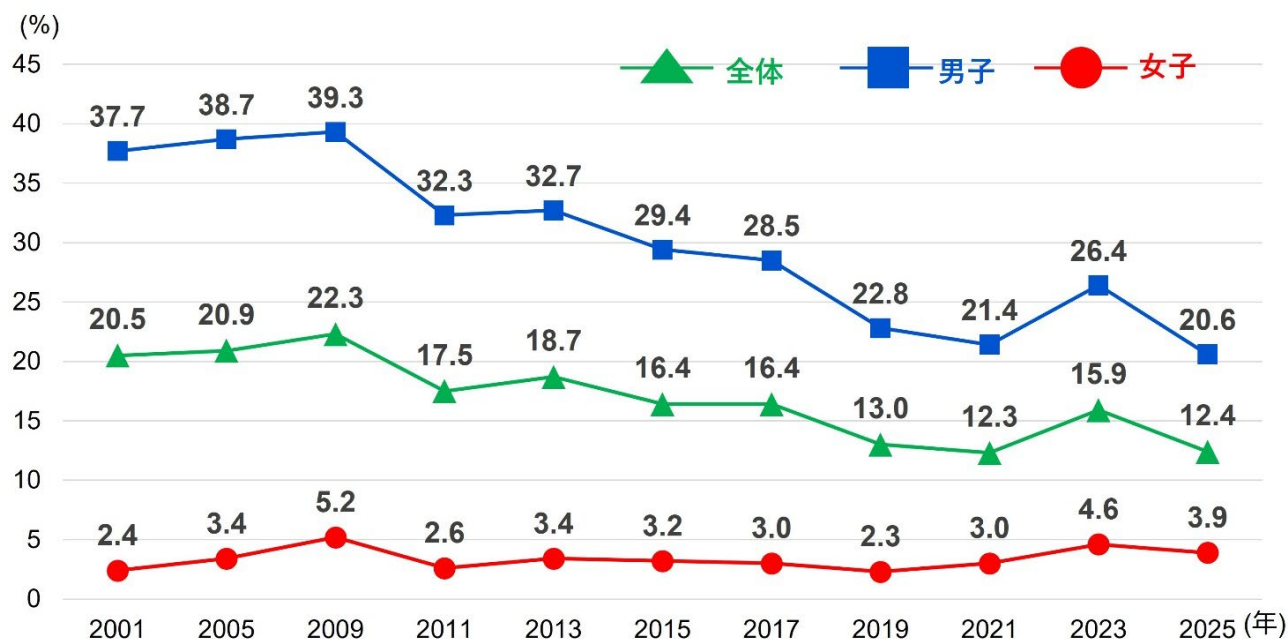
■年 1 回以上の野球実施率の推移（2001～2025 年）：全体・性別（10～19 歳）

2025 年の年 1 回以上の実施率は全体 12.4%、男子 20.6%、女子 3.9%であった。調査開始の 2001 年と比較すると全体は 20.5%から 8.1 ポイント減少、男子は 37.7%から 17.1 ポイント減少、女子は 2.4%から 1.5 ポイント増加している。10 代の年 1 回以上の実施率は減少傾向にあり、特に男子の減少幅が大きく女子は横ばいで推移している。直近 3 回の推移をみると、2021 年から 2023 年にかけて全体は 3.6 ポイント、男子は 5.0 ポイント、女子は 1.6 ポイント増加したものの、2025 年の実施率は 2023 年から全体、男女ともに減少した。特に男子では 5.8 ポイントの減少となり、2001 年の調査開始以降で最も低い割合となった。

【本件に関するお問合せ先】

笹川スポーツ財団 広報担当 清水
TEL：03-6229-5300 info@ssf.or.jp

図表 1. 年 1 回以上の野球実施率の推移 (2001～2025 年) : 全体・性別 (10～19 歳)



笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」(2001～2025) より作成

■年 1 回以上の野球実施推計人口の推移 (2001～2025 年) : 全体・性別 (10～19 歳)

2025 年の 10 代の野球の実施人口は 133 万人と推計され、2001 年の 282 万人から 149 万人減となった。男子の推計実施人口は 113 万人であり、2001 年の 265 万人から 152 万人減少し、女子は 20 万人と 2001 年の 16 万人から増加した。

図表 2. 年 1 回以上野球推計人口・実施率の推移 (2001～2025 年) : 全体・性別 (10～19 歳)

		2001	2005	2009	2011	2013	2015	2017	2019	2021	2023	2025
全体	実施率 (%)	20.5	20.9	22.3	17.5	18.7	16.4	16.4	13.0	12.3	15.9	12.4
	推計人口 (万人)	282	269	271	210	223	194	190	148	137	174	133
男子	実施率 (%)	37.7	38.7	39.3	32.3	32.7	29.4	28.5	22.8	21.4	26.4	20.6
	推計人口 (万人)	265	255	244	198	200	178	169	133	122	148	113
女子	実施率 (%)	2.4	3.4	5.2	2.6	3.4	3.2	3.0	2.3	3.0	4.6	3.9
	推計人口 (万人)	16	21	31	15	20	18	17	13	16	25	20

注) 推計人口は住民基本台帳の 10 代人口 (人) に実施率 (%) を乗じて算出

笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」(2001～2025) より作成

■年 1 回以上の野球実施率の推移 (2001～2025 年) : 性別・年代別 (10～19 歳)

年代別に年 1 回以上の実施率をみると、2025 年は小学生年代 (10,11 歳) 16.1%、中学生年代 (12～14 歳) 14.2%であり、高校生年代 (15～17 歳) 10.4%、大学生年代 (18,19 歳) 6.1%よりも高い。2023 年と比較すると、小学生年代は 22.3%から 6.2 ポイント、中学生年代は 18.1%から 3.9 ポイント、大学生年代は 9.9%から 3.8 ポイントいずれも減少したが、高校生年代では大きな変化はみられなかった。

図表 3. 年 1 回以上の野球実施率の推移 (2001～2025 年) : 性別・年代別 (10～19 歳)

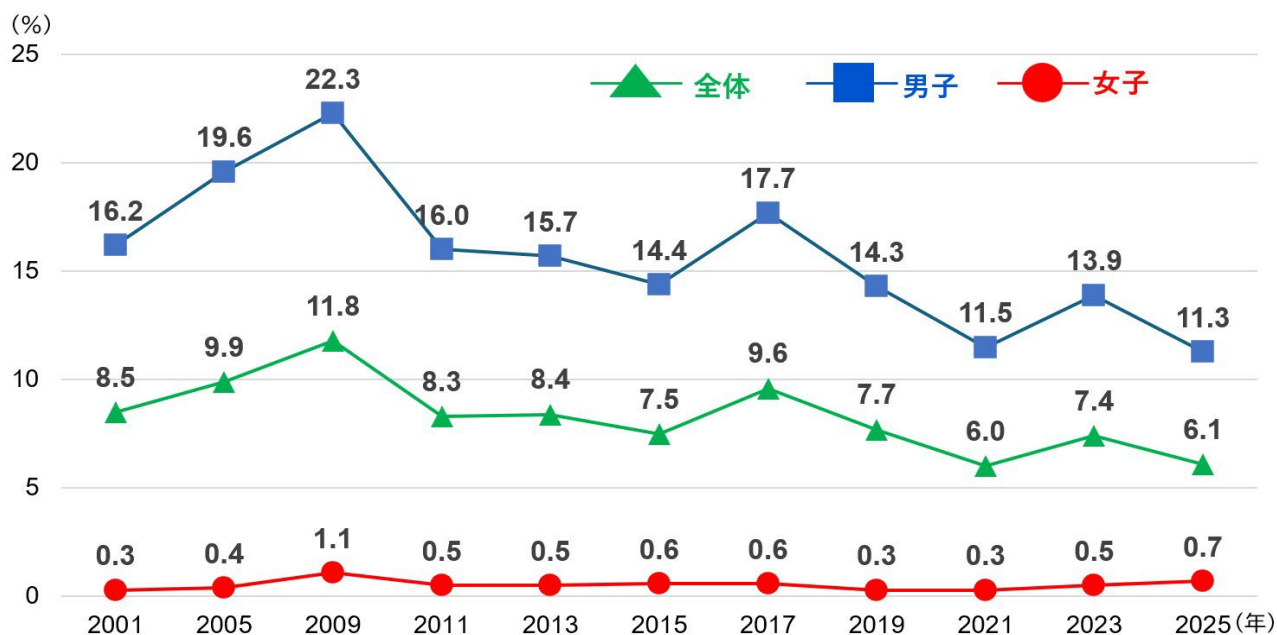
		2001	2005	2009	2011	2013	2015	2017	2019	2021	2023	2025
全体	小学生年代 (10,11歳)	26.1	33.6	34.8	20.8	26.6	22.8	19.1	15.8	14.6	22.3	16.1
	中学生年代 (12～14歳)	27.9	22.7	27.6	20.4	20.6	20.7	19.0	14.4	14.3	18.1	14.2
	高校生年代 (15～17歳)	15.8	15.4	14.1	15.9	17.2	13.9	12.2	11.7	10.1	10.8	10.4
	大学生年代 (18,19歳)	12.6	12.6	16.1	14.1	10.8	10.2	13.7	8.2	9.4	9.9	6.1
男子	小学生年代 (10,11歳)	44.8	59.0	58.2	36.1	42.7	40.5	32.9	26.1	24.4	34.4	25.8
	中学生年代 (12～14歳)	52.7	43.1	49.2	38.6	36.8	32.8	32.1	25.2	24.6	31.8	24.5
	高校生年代 (15～17歳)	30.3	29.7	25.2	29.8	30.5	25.8	22.1	21.8	19.0	19.5	15.9
	大学生年代 (18,19歳)	22.3	22.4	30.4	26.0	19.2	21.5	23.3	14.9	15.8	15.4	18.5
女子	小学生年代 (10,11歳)	8.2	5.8	12.7	3.4	7.2	6.0	3.7	5.1	3.9	8.5	5.6
	中学生年代 (12～14歳)	1.6	4.0	5.5	3.6	2.5	5.3	2.7	1.7	3.6	3.4	3.2
	高校生年代 (15～17歳)	0.4	1.7	2.0	1.3	2.9	1.5	2.1	0.8	1.5	2.7	5.0
	大学生年代 (18,19歳)	1.6	2.6	2.5	2.6	2.2	1.3	3.5	0.7	3.0	3.2	0.0

笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」(2001～2025) より作成

■週 1 回以上の野球実施率の推移 (2001～2025 年) : 性別・年代別 (10～19 歳)

全体の週 1 回以上の実施率は、2009 年の 11.8% をピークに 2025 年は 6.1% まで減少した。全体をけん引する男子も同様の推移を示し、2025 年は 2009 年 22.3% から 11.0 ポイント低下し 11.3% であった。女子は 2001 年以降、0.5% 前後の横ばいで推移している。

図表 4. 週 1 回以上の野球実施率の推移 (2001～2025 年) : 全体・性別 (10～19 歳)



笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」(2001～2025) より作成

【「子ども・青少年のスポーツライフ・データ 2025」調査概要】

調査項目：運動・スポーツ実施状況、運動・スポーツ施設、スポーツクラブ・運動部、習いごと、スポーツ観戦 等

調査対象：全国の市区町村に在住する 4～11 歳・2,400 人／12～21 歳・3,000 人

調査方法：訪問留置法による質問紙調査 (4～11 歳は個別聴取法併用)

有効回収数 (率)：4～11 歳・1,320 (55.0%) / 12～21 歳・1,438 (47.9%)

調査時期：2025 年 6 月 28 日～7 月 23 日